

本時の目標：ウィーン体制下のヨーロッパについて理解しよう。

イギリスの自由主義的改革

(1) 選挙制度

① 第一回₁ _____ (1832年)・・・**ホイッグ党**内閣が実施

内容：有権者の激減した₂ _____ を廃止⇒新興の商工業都市や人口の多い州に配分

産業資本家などに選挙権、ただし₃ _____ 階級はその後も政治的指導力も保持

② ₄ _____ 運動・・・民主的な選挙制度を求める労働者による政治運動

⇒男性普通選挙、議員の財産資格廃止など6か条の₅ _____ を掲げる。

(2) ₆ _____ 政策・・・産業資本家の利益を実現

① ₇ _____ の中国貿易独占権廃止を実施(1834年)

② **穀物法**の廃止(1846年)・・・₈ _____ ・**ブライト**らの反穀物法同盟の運動

地主を擁護するために、擁護するために、1815年に制定された法律。イギリスは農業に適した土地ではないので、農産物は、外国産の方が安くて美味しいとされていた。そこで、輸入に頼ると、農地の所有者である地主が儲からない。そこで、農産物の輸入に高い関税をかけて外国のものが売れにくいようにしていた。

●1815年になると穀物がイギリスに流入してくるようになったことから、この法律が制定された。

なぜ、このような法律が制定されたかナポレオンとナポレオンの制定した法律に着目して考えよう。

③ **航海法**の廃止(1849年)⇒自由貿易の完成

ギリシア独立と東方問題

15c~	1 _____ の支配下に入る。タペストリー p34
19c~	独立運動を展開
1821年	2 _____ 戦争が勃発（1829年まで）
1822年	1 _____ からの独立を宣言

・ロシアの東方進出に、危機感
 ・ヨーロッパのルーツとされたギリシア
 に同胞意識を持った。

(1) 構造

オスマン帝国

VS

ギリシア

フランス

ロシア

イギリス

・・・各国による支援

(2) 支援した理由（ロシア）・・・ロシアは、_____ が欲しかった。

⇒今後ロシアの南下政策が、国家間の対立を生む。

(3) 結果・・・ギリシア側の勝利

1829年	7 _____ 条約 オスマン帝国はギリシアの独立承認 ロシアが黒海北岸を獲得
1830年	8 _____ 独立が国際的に承認される。

(4) 9 _____ 戦争（1831年～33年、39年～40年）・・・エジプトがシリア要求

ロシア・・・不凍港獲得と10 _____ 両海峡の自由通行権獲得を期待
 イギリス・・・東地中海の支配権確保のため、ロシア・フランスを警戒

1840年のロンドン条約で両海峡の軍艦通過禁止を認めさせる。

⇒オスマン国内各地の自立化の広がり、列強の動きはやまず。

目標の達成度を5段階で評価しよう。	1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
-------------------	---------------------------

○本時の感想と疑問点を記述してください。